

福島第一原子力発電所の滞留水の水位・移送、処理の状況について（4月29日18時現在）

		1号機	2号機	3号機	4号機
滞留水の水位 (4月29日16時時点)	トレンチ立坑水位	水位低下に伴い、測定できず (O.P.+ 850 mm未満)	O.P.+ 3,080 mm (4月29日7時から7 mm下降)	O.P.+ 3,189 mm (4月29日7時から3 mm下降)	
	タービン建屋水位	O.P.+ 2,607 mm (4月29日7時から30 mm下降)	O.P.+ 3,029 mm (4月29日7時から7 mm下降)	O.P.+ 3,150 mm (4月29日7時から10 mm下降)	O.P.+ 3,128 mm (4月29日7時から8 mm上昇)
	原子炉建屋水位	O.P.+ 4,152 mm (4月29日7時から24 mm下降)	O.P.+ 3,218 mm (4月29日7時から1 mm下降)	O.P.+ 3,237 mm (4月29日7時から8 mm下降)	O.P.+ 3,144 mm (4月29日7時から5 mm上昇)
	集中廃棄物処理施設 における各建屋の水位	プロセス主建屋 高温焼却炉建屋 サイトバンカ建屋	O.P.+ 2,983 mm (初期値からの増加量4,200 mm, 4月29日7時から8 mm上昇) O.P.+ 3,228 mm (初期値からの増加量3,954 mm, 4月29日7時から13 mm上昇) O.P.+ 4,259 mm (床面からの水位463 mm, 4月29日7時から7 mm上昇)		
滞留水の移送状況	1号機	2号機	3号機	4号機	
	1号機タービン建屋地下 2号機タービン建屋地下	2号機タービン建屋地下 集中廃棄物処理施設（高温焼却炉建屋）	3号機タービン建屋地下 集中廃棄物処理施設（高温焼却炉建屋）		
	移送実施 (4月27日14時49分～ 4月29日9時05分)	移送実施中 (4月14日15時27分～)	移送実施中 (4月29日9時43分～)		
		5・6号機			
水処理設備の運転状況	セシウム吸着装置 : 4月26日9時50分～ 停止中 第二セシウム吸着装置（サリー） : 4月27日12時42分～ 運転中 淡水化装置（逆浸透膜） : 水バランスをみて断続運転* 1 淡水化装置（蒸発濃縮） : 水バランスをみて断続運転* 2				
その他特記事項	* 1 : 淡水化装置（逆浸透膜式）2については、4月27日に発生した漏えい事象により同日午前9時30分より停止していたが、漏えいが発生した箇所を隔離し、類似箇所の点検を行い、問題のないことが確認されたことから、漏えい箇所を含むスキッドを隔離した状態で、4月29日午前10時7分、運転を再開。 * 2 : 4月29日午後4時20分頃、福島第一原子力発電所淡水化装置濃縮水貯槽エリアの蒸発濃縮廃液貯槽（タンク）のペント配管から、水が漏れていることをパトロール中の当社社員が発見。漏えい状況は鉛筆の芯1本程度の連続滴下であり、漏れた水は約2m×約2mで地面（砂利）が湿っている状態であり、海洋へ繋がる排水溝等への流出はない。現在、当該タンクの下に受け容器を設置し、漏えい拡大防止を行っている。湿った地面の表面線量率を測定したところ、線が約2mSv/h、線が0mSv/hであり、また受け容器に溜まった水の表面線量率を測定したところ、線が約1mSv/h、線が0mSv/hであり、周辺の雰囲気線量率と同程度であることを確認している。今後、採取した水の放射能濃度を分析するとともに、滴下の原因について調査する予定。				

水位についてはデータとして速やかに提供させていただく観点から、参考値としてお知らせさせていただいております。